

<b>No.6</b>	<b>高度化</b>		
<b>氏名</b>	<b>多田 圭吾</b>	<b>映像学部</b>	<b>2回生</b>
<b>1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。</b>			
2019年11月にTabiwa+Rという団体が滋賀県にある甲賀市土山町という地域で「若者が地域をフィールドにSDGsに主体的に取り組む“ふるさとSDGs”」を実践する事業として企画した。本プロジェクトでは、一ヶ月間学校に通いながらも空き家に住み続け、毎日1企画行っていた。このような大学生の大きなアクションと社会課題に取り組む考えをテーマに映画を制作することで、2030年までにどのようなアクションを起こしていけばよいかを伝える。			
<b>2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。</b>			
2020年9月にTabiwa+Rにて実際に「甲賀で繋がる30日」を企画していたメンバーにインタビューを行った。企画を行う上で大変だったこと、30日の間で起こった事件、やってよかったと思える瞬間などについて2時間程度深く御話することができた。また10月には、この企画に関わる甲賀市へ実際に足を運んだ。忍者村や牧場など様々な町を見ることができ、映画制作のイメージの構築ができた。一番大きく関わっていた甲賀のイベントを支えていた大家さんと職員さんに話を聞くことができた。現在は、その調査を下に脚本を制作している。			
<b>5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。</b>			
今回の取り組みにおける、今後の活動展開と展望であるが、最終目標である映画を完成させるところにある。そしてそれらの配給・広報もしっかりと取り組みたい。脚本を完成させるところにもっと力を注ぎたいので、「甲賀で繋がる30日」に関わるメンバーやスタッフなどにインタビュー・調査を繰り返し行っていきたいと考えている。映画完成は来年の12月を予定しており、コロナの影響で動くことができなかったことの反省を活かしながら来年度はしっかりと動ける準備をしていきたい。			
<b>6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。</b>			
今回の取り組みは、映像制作における大切な関わりとスキルを身につけることができている。自分の想いだけでなく、様々な人が考えていること、想っていることを、1つの作品としてまとめるということは大きな学びである。今後、映像学部における正課の授業や研究の中でも、様々な調査を行っていく上でここで培った経験を活かすことができる。また、進路に関しても将来的に自分がどういう想いで作品を発信していくのかという思考の部分に影響が与えられている。			
<b>7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元の点で記述してください。</b>			
今回の活動が周囲に与えた影響として、実際に奨学金を受給し、プロジェクトを進めるために有効活用することを考え、多くの大学生に勇気を与える企画をもっと知ってもらうためにインタビューから、ロケーションを発信できたことは大きい。ここからさらに、映画を完成させることでより多くの人々に日本の地域を知ってもらうとともに、大学生にできることがたくさんあることを知らしていきたい。エンタテインメントという領域で社会に少しでも勇気を与えたい。			

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。	
<p>The graph plots 'モチベーション' (Motivation) on the vertical axis against time on the horizontal axis. The vertical axis has a blue arrow pointing up and down, labeled 'モチベーション'. The horizontal axis is divided into three sections: '採用前' (Before Adoption), '採用' (Adoption), and '現在' (Present). The graph shows a line that starts at a high point in '採用前', drops significantly during '採用', rises to a peak in '現在', and then slightly declines. A yellow star marks the peak in '現在'. Callouts provide context for each section.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>採用前:</b> A callout box states: '採用前では、実際に映画を完成させるまでのスケジュールを立て、実現させていくための目的や目標を本奨学金の提出書類によってまとめることができたのでモチベーションが高い。' (Before adoption, I set a schedule for completing the movie and established goals for realization, so my motivation was high because I could summarize them in the application documents.)</li> <li><b>採用:</b> A callout box states: '採用時には、コロナの影響が大きくなっていったためにモチベーションが下がった。' (At the time of adoption, motivation dropped because the impact of COVID-19 became large.)</li> <li><b>現在:</b> A callout box states: 'コロナ禍の中でもできることを少しずつ探していったので、インタビューや調査をしているうちにモチベーションを上げること' (Even in the COVID-19 era, I gradually explored what I could do, so my motivation increased as I conducted interviews and surveys.)</li> <li><b>現在 (Peak):</b> A callout box states: '脚本制作という形で、方向性を変えたのでモチベーションは上がったままプロジェクトを進行す' (In the form of script production, I changed the direction, so my motivation increased and I continued the project.)</li> <li><b>現在 (Decline):</b> A callout box states: 'コロナ禍の影響で、映像学部から機材も借りることができず、映像制作を行うことが難しくなり、プロジェクト進行が怪しくなった。' (Due to the impact of COVID-19, I couldn't rent equipment from the Department of Video, making video production difficult and the project progress uncertain.)</li> </ul>	
3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。	
本奨学金の採用前では、コロナの影響がそこまでひどいものになるとは思ってはいなかったが、徐々にひどくなり、映像制作に必要な機材を借りることはできずプロジェクトを進めることができなくなってしまった。その中でもできることを一つ一つ探し、脚本を制作するために必要なインタビューや調査を行った。映画のクオリティを決めるのは、脚本がほとんどであるという話もある上で、本プロジェクトでは映画制作よりも脚本制作へ方向性を変えた。できないことによって、モチベーションが下がったとしてもできることを探すことでモチベーションは上げられることに気付かされた。	
3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？	
今年度の取り組みと正課の学びや取り組みは、実際映像制作における技術だけではなく映画を作る上で必要なマインドやチームビルディングの構築が特に今年度の取り組みの中で活かされていたと思う。映画制作は、1人だけでは完成させることができないためにチーム、つまり組織を常に意識しプロデューサーとしてそれらをまとめなければならない。正課の授業で経験してきたことを活かしながら、本作品制作を進めることができる。	
4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○） また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】	
① 目標の達成度	2
<理由> 本来の目標では、映画を完成させるところまでが目標であったためにコロナの影響によって制作を進めることが難しくなったことで目標の達成度は低めに設定している。来年に向けて、今年にできることをやっているため来年には完成させる。	
② 計画の達成度	2
<理由> 本プロジェクトの映画制作においては、脚本を制作するところから方向性を変えた。はじめに設定していた計画の達成度としては全然だが、状況に応じた計画に組み替えることができたこと、そのような意味では進捗は良い方である。	
③ 取り組みを通じた自己成長	5
<理由> コロナ禍における影響で、様々なところに障害があったがそれに対応する形で「できる」ことを考えられる力を身につけることができた。この取り組みによって、今後新型コロナウイルスのような新しい普通を押し付けられる環境になったとしても対応できる人間になることができた。	
10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。	
① 身についた力	外的要因によって、プロジェクトが止まったときに柔軟に対応する力
② ①で記述した力について具体的に説明してください	新型コロナウイルスの影響で、映画制作を行うことは難しいが来年により良くなることができることを考えることによって柔軟に対応する力を身につけることができた。
③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください	本奨学金を有効に活用する方法を考えることで、できないことが目の前にあったとしてもできることを考えるしか無い環境にあったために身につけることができたと考えている。